

市議会だより

DAISEN CITY COUNCIL NEWS



6月14日「第11回大仙市老連8人制バレーボール親睦交流大会」が開催され、熱戦が繰り広げられました。

**防災ラジオ1万台を
購入する財産取得案
を可決**

主な内容

CONTENTS

■平成28年第2回定例会概要	2～3
■6人の議員が一般質問	4～6
■議決結果・賛否一覧	7
■委員会審査のあらまし	8～9
■政務活動費・市政懇談会の報告	10
■議会のうごき	11
■編集後記 ほか	12

防災ラジオ1万台購入の財産取得案を可決

第2回定例会

第2回定例会は、5月30日から6月20日までの22日間の会期で行われました。

本会議1日目に、栗林市長の市政報告が行われました。

市当局提出の人事案3件、条例案1件、単行案7件、補正予算案4件を同意・原案可決したほか、請願1件を採択、陳情3件のうち1件を採択、1件を不採択、1件を継続審査とし、意見書案1件を原案可決しました。

一般質問は、2日間にわたって6人の議員が、市政全般について市当局に質問しました。



※第2回定例会の録画映像は、大仙市ホームページの議会のページでご覧いただけます
 〈市議会トップページ→議会中継 [映像アーカイブ]→平成28年第2回定例会 本会議〉

人事案

▼教育委員会委員の任命について
 (全会一致で同意)

◇鈴木直樹氏 (長野 再任)

◇工藤浩一氏 (協和小種 新任)

▼人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて (全会一致で同意)

◇森京子氏 (刈和野 再推薦)

条例案

▼大仙市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について (全会一致で可決)

保育の需要に対して保育の受け皿が不足していることから、家庭的保育事業などの設備及び運営に関する基準(厚生労働省令)の一部が改正され、待機児童を解消し、受け皿の拡大が進むまでの当分の間の特例として、保育士の配置基準の特例が設けられたことに伴い、本市条例の一部を改正しました。

この改正で、幼稚園教諭もしくは小学校教諭または養護教諭の免許を有する人を保育士に代えることができるほか、保育士の配置基準にも特例が設けられました。

単行案

▼財産の取得について (4件とも全会一致で可決)

◇消防用軽四輪駆動小型動力ポンプ付積載車8台を購入。取得金額は463万4000円で、神岡・西仙北・太田地域に1台ずつ、大曲地域に3台、中仙地域に2台配備します。



▲小型動力ポンプ (出力40.8ps)

▲配備される軽四輪駆動積載車

第2回定例会の概要



▲協和地域に配備されるものと同型の除雪ドーザ

◇除雪機械（除雪ドーザ11t級）1台を購入。取得金額は1563万8400円で、協和除雪ステーションに配備します。



▲大仙市オリジナル防災ラジオ

◇防災ラジオ1万台を購入。取得金額は1億2916万8千円で、高齢者世帯や小中学校に無償貸与するほか、一般向けにも販売します。

補正予算

▼平成28年度大仙市一般会計補正予算（第2号）（全会一致で可決）

歳入歳出予算の総額にそれぞれ1億1325万3千円を追加し、補正後の総額は458億755万3千円となりました。

主なものは、太田地域の自主防災組織連絡協議会が実施する自家発電機整備事業に係る助成金200万円、移住定住アクションプランの策定や首都圏セミナーの開催およびだいせんライフのPR促進のためのガイドブック作成に係る経費344万7千円、市内のぶどう生産者協議会が太田地域で行うシャインマスカットのぶどう棚整備等に対する補助金1275万2千円、農地中間管理機構と連携した農地の集約化が図られている市内34地区における、農地の拡大や暗渠排水整備等の基盤整備事業に係る補助金3231万7千円などです。

▼平成28年度大仙市公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）（全会一致で可決）

大曲・神岡地域の管路工事および

◇除雪機械（除雪ドーザ14t級）1台を購入。取得金額2170万8千円で、大曲除雪ステーションに配備します。

刈和野浄化センター長寿命化対策工事に係る経費1億2862万円です。

▼平成28年度大仙市特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）（全会一致で可決）

協和中央浄化センター長寿命化対策工事に係る経費2510万円です。

第2回臨時会

第2回臨時会が4月26日に招集され、専決処分報告6件、補正予算案1件が上程され、承認・可決されました。主な内容は次のとおりです。

▼専決処分報告について（大仙市税条例等の一部を改正する条例）（全会一致で承認）

平成30年度から平成34年度までの各年度分の市民税に限り、特定一般医薬品等の購入費1万2千円を超える部分について、前年に特定健康診査等を受けているなど一定の条件を満たす場合は、その超える部分につき、8万8千円を限度に所得から控除することができることとする医療費控除の特例が設けられました。

※特定一般医薬品とは・・・

医療用薬品から一般用医薬品に転用され、薬局などで購入することが

できるものです。

▼平成28年度大仙市一般会計補正予算（第1号）（全会一致で可決）

全国花火競技大会（大曲の花火）の花火打ち上げ会場の管理用道路の整備、排水対策、不陸整正に係る負担金2000万円、雪解け後の道路や側溝の損傷箇所を早急な補修対策を図るための経費8000万円、補正後の予算総額は456億9430万円となりました。

▲臨時会冒頭、開議に先立ち、「平成28年熊本地震」により犠牲となられた皆さまに対し、哀悼の意を表するため、黙祷をささげました。





新国会
小松 栄治 議員

Q 雇用対策と
企業誘致の取り組みは

A 大卒者の雇用に
つなげる業種を考慮する

質問 県内外の高校・大学等を卒業した大仙市出身者の就職状況は。また、市内への就職に当たり、実施している支援策は。

久米副市長 大曲仙北管内の高校に調査したところ、県内就職者数は165名の73・3%、市内就職者数は97名の43・1%であった。また、県内の大学・高等専門学校など3校へ確認したが、県内就職者は438名であった。企業への支援策では「大仙市若者定住促進雇用助成金制度」により、雇用者1名当たり10万〜30万円を助成している。大学生への支援では「企業インターンシップ事業」を秋田大学と共催で実施している。

質問 企業誘致の実施状況、企業から提示された条件は。

久米副市長 昨年度は首都圏の企業延べ22社に市長や副市長、職員が訪問し、また、秋田県企業立地事務所への市派遣職員が延べ134社を訪問している。条件としては、空き工場・工業用水の有無、雇用への支援、優秀な人材確保への協力、下請け企業の集積情報、交通便利性などがあつた。

質問 国との連携は。

久米副市長 経済産業省東北経済産業局への職員派遣により、国の施策をいち早く把握し、市内企業の要望に即応している。

大卒者の雇用が少ないので、誘致に際しては、本社機能移転や研究機関など大卒者の雇用につながる業種を考慮し、若者の定住促進に結びつきたい。

併任辞令の取り組みの考えは

質問 業務等の繁閑に対応するため、併任辞令による組織体制の構築と充実を図る考えはないか。

市長 各部署の事務事業に応じて人員配置を行っているが、必要に応じて、応援体制も構築している。確定申告時、選挙・花火大会などの大規模な行事では、兼務・併任辞令を交付している。

※このほか、大仙市の観光、防災計画（防災訓練）のあり方について質問しました。



大地・公明の会
秩父 博樹 議員

Q 強靱化「地域計画」は
いつ頃を目途に策定するのか

A 県の計画の方向性を
見極め、検討する

質問 今後も発生するであろう自然災害等から市民の生命・財産を守るため、市の強靱化「地域計画」は、いつ頃を目途に策定するのか。また、その内容は。

市長 県は現在策定中で、本年12月には施行予定と伺っている。県内市町村では策定の必要性が、まだ議論されていない。本市ではこれまでも災害に強いまちづくりを推進してきており、一定の内容については対応している。今後、独立した強靱化「地域計画」策定の必要性も含め、検討する。

若者や子育て世代が
住みやすい環境づくりの推進を

質問 保育所などで児童が急病になった場合、共働きなどの理由で児童を迎えに行けない保護者に代わり、病児保育施設から保育士と看護師を派遣し、体調不良の児童がいる保育施設まで迎えに行く「お迎え型体調不良児保育事業」を検討できないか。

老松副市長 ニーズの多様化が進んでいるが、体調不良の子どもにと

って一番安心できるのは家庭であり保護者の寄り添いである。そのためには働きやすく子育てのしやすい職場の環境・体制づくりが不可欠なので、関係団体へご理解・ご協力をお願いしていく。

若者の政策形成過程への参画は

質問 子ども・若者育成支援施策や世代間合意が不可欠である分野の施策では、子ども・若者の意見も積極的かつ適切に反映されるよう、各種審議会・懇談会等の委員構成に配慮し、若者の意見を積極的に取り入れていく体制づくりが必要では。

市長 若い世代の声は非常に貴重で大切であり、全ての世代がそれぞれの良さを活かし、ともに意見を交換することのできるバランスのとれた環境を創出することが重要と考える。政策合意にあたる審議会等では提案の趣旨にも十分配慮した委員構成となるよう心掛けていく。

※このほか、食品ロス削減への取り組みについて質問しました。



日本共産党
藤田 和久 議員

Q 安倍政権の社会保障制度を
どう捉える

A 社会保障の充実に
向かうことを期待したい

質問 安倍政権の社会保障制度についての市長の捉え方は。

市長 持続可能な社会保障の構築により「こども・子育て支援」「医療・介護」などの各分野で社会保障の充実に向かうことを期待する。

質問 これ以上の社会保障解体は許されない。国に要請できないか。

市長 「社会保障解体をやめよ」という要請は考えていないが、「社会保障と税の一体改革」による制度改革は実行に移すべきである。

地域医療構想はこれで良いのか

質問 病床数の削減は地域の実情に合わないのでは。また、大曲仙北地域の人口に対する基準病床数が他の圏域より少なくないか。

市長 将来推計人口や患者の受診動向などをもとに推計された病床数は、単に病床数を削減するものではなく、不足している病床の機能区分を把握し、いかに改善していくかを判断するためのものである。また、基準病床数は、年齢階級別人口や退院率などさまざまな指数により調整

されたもので、単純に人口比率で他の圏域と比較するものではない。

国民健康保険制度はどうなる

質問 平成27年度からの国の財政支援をどのように活用したのか。また、一般会計からの繰出しは今後どうなるのか。

市長 当市は1億1千万円の増額交付を受け、米価下落の影響などに伴った国保世帯の所得減少による国保税の減収に充当し、税率を据え置いた。国の財政支援があっても国保財政は厳しい状況であり、平成30年度の国民健康保険の県単位化となるまでは、引き続き繰出しを実施していく。

質問 国民健康保険の県単位化には反対だが、県単位化後の運営や国保税などの基本情報を伺う。

市長 国・県の公費や市町村からの納付金を財源に、県が財政運営の責任主体となる。県が決定する納付金により国保税率が決定されるが、県の試算は10月に実施予定で、現段階では不透明な状況である。



大地・公明の会
後藤 健 議員

Q 「産業用大麻栽培特区」に向け
検討会を設置しては

A 現状では課題も多く、
大麻草栽培の奨励は難しい

産業用大麻とは：

麻薬成分を含まない無毒の大麻草で、寒さや病害虫にも強く、農薬が不要のため栽培もしやすい。繊維や種子、根などから2万5千種類の生用品が作られるほど汎用性が高く、品質の良い国産の「産業用大麻」は栽培面積が少ないため、収益も高く安定している。

無毒ではあるが大麻取締法の規制の対象となっており、栽培等は都道府県知事の許可を受けた「大麻栽培者」などごく一部にしか許されない。

質問 国産シェアがわずか1%ほどしかなく、花火玉の原料として大量に使用される「麻炭」の原料となる「産業用大麻」は、花火産業を産

業としてより活性化させるとともに、新たな農作物としても大きな可能性を秘めているが、その有用性をいかに考えるか。また、大仙市内で「産業用大麻」の栽培を目指し「栽培特区」に向けた検討会を設置してはどうか。

市長 産業用大麻を農業振興の点から見た場合、無農薬栽培で短期間での収穫が可能であり、繊維量も多

く有用性はあるが、生産者は大麻取締法に基づく「大麻取扱者免許」を取得しなければならず、種子の増産は公的研究機関によることが要件となり、栽培に至った場合でも無毒化維持に向けた管理体制など課題も多い。

産業用大麻は多様性や国産の希少性から有用性は認識するが、産業用とはいえ大麻草の生産を奨励していくことは現状では難しい。

旧池田市庭園の活用は

質問 大仙市が誇る国の名勝「旧池田氏庭園」と地域に根差した文化で愛好家も多い囲碁・将棋を掛け合わせ、「旧池田氏庭園」で囲碁や将棋のタイトル戦を誘致してはどうか。

生涯学習部長 タイトル戦運営に必要な施設規模などさまざまな条件を勘案すると、当地での開催は難しい状況にあるが、プロ棋士を招いての公開対局等の実績もあるので、庭園の魅力を活かした環境での公開対局等について、関係団体と相談しながら、実現に向けて検討していく。



市民クラブ 佐藤 隆盛 議員

Q 今日までの
市政の舵取りの感想は

A 本市の課題に必要な
取り組みを着実に進めた

質問 平成17年4月に「市政は市民のために」を基本理念にスタートした栗林市政の、今日までの舵取りの感想は。

するにあたって、自信と手応えにつながる成果であった。

市職員団体との交渉は

市長 初代大仙市長として市政の舵取り役を担ってから11年が経った。誕生から10年間は「基礎固め」として位置づけ、第1次大仙市総合計画のもと、医療・福祉、子育て・教育、産業、防災などの喫緊の課題に正面から向き合い、必要な取り組みを着実に進めてきた。とりわけ、大仙仙北圏域住民の長年の願いであった仙北組合総合病院の改築を核とした市街地再開発事業の完成は、市民や圏域住民のいのちと健康を守り、健やかな暮らしの実現につながる大きな成果である。また、東日本大震災における被災地支援を通じた市民の防災意識向上と危機対応力強化、市政推進の基盤となる「市民と行政との協働のまちづくり」の明確な指針として「大仙市民憲章」「だいでんまちづくり基本条例」を市民の手づくりにより策定したことなどは、新市誕生から一貫して取り組んできた「市民が主役のまちづくり」を推進

質問 労使が正常な交渉を積み重ねることは極めて重要であるが、この10年間で職員団体との交渉の雰囲気は。また、職員団体加入者が減少する中、今後どのように交渉していくのか。

市長 合併から10年間における職員団体との交渉については、給与のマイナス改定、老人介護施設や保育園等の法人化の大きな問題はもちろんのこと、事の大小にかかわらず職員の処遇などに関する事項については、常に職員団体に説明し、理解を求めるなど真摯な対応をしてきている。今後については、組合員の多寡にかかわらず、これまでと同様に真摯に対応を心掛けていく。

※このほか、第2次大仙市観光振興計画について質問しました。



日本共産党 佐藤 文子 議員

Q 医療用ウィッグと
乳房補正具購入に補助を

A 県の対応・他市町村の動向
を参考に検討する

質問 がん治療を安心して受け、その後の社会復帰への不安解消の一助として、医療用補正具購入費用に補助できないか。

度の生活状況で判断しているため、3月中に支給することは難しい。

質問 高校卒業まで医療費の無料化を検討していただきたい。

市長 がんの放射線治療や抗がん剤治療の副作用である脱毛や、手術による乳房の喪失は精神的苦痛であり、心身に対する支援が必要とされている。また、治療を受けながら社会生活を送る人が多くなってきており、補正具の必要性は高まっている。県の対応や他市町村の動向を参考に検討してまいりたい。

市長 今般、県において「秋田県まち、ひと、しごと創生総合戦略」における子育て支援策として、補助対象を中学生まで拡充することになり、県一元化が実現した。市では、子どもの医療費助成を義務教育課程までと捉えており、高校生の医療費助成は県全体の施策と考える。

子育て支援の充実を

質問 就学援助として、クラブ活動費を支給対象とするよう求めるとともに、入学準備金の額を増額し、入学前支給ができないか。

教育長

放課後の活動について個人負担額はさまざまで、適正な基準を設けることは困難である。就学援助の額は国が示す単価をもとに決定しており、本市の認定基準や対象支給項目は県内でも高い水準である。また、入学前支給については、前年

高校新卒者の採用を

質問 市職員採用について、高校新卒者の採用枠を設けていただきたい。

市長 合併後、定員適正化計画により採用する職員が限定されていることから、学力はもちろんのこと、大学生生活などにより社会経験を積み、短期間の研修で市職員の一員として仕事に従事できる人材を求めている。引き続き、現在の方針で採用してまいりたい。

平成28年第2回臨時会 議決結果（全会一致）

番 号	件 名	議決結果
報告第2号	専決処分報告について（行政不服審査法の全部改正に伴う関係条例の整理に関する条例の一部を改正する条例）	承認
報告第3号	専決処分報告について（大仙市税条例等の一部を改正する条例）	承認
報告第4号	専決処分報告について（大仙市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	承認
報告第5号	専決処分報告について（平成27年度大仙市スキー場事業特別会計への繰入額の変更）	承認
報告第6号	専決処分報告について（平成27年度大仙市一般会計補正予算（第9号））	承認
報告第7号	専決処分報告について（平成27年度大仙市スキー場事業特別会計補正予算（第2号））	承認
議案第128号	平成28年度大仙市一般会計補正予算（第1号）	原案可決

平成28年第2回定例会 議決結果（全会一致）

番 号	件 名	議決結果
議案第129号	教育委員会委員の任命について	同意
議案第130号	教育委員会委員の任命について	同意
議案第131号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	同意
議案第132号	大仙市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第133号	大仙市と仙北郡美郷町との境界変更について	原案可決
議案第134号	字の区域の変更について	原案可決
議案第135号	財産の取得について	原案可決
議案第136号	財産の取得について	原案可決
議案第137号	財産の取得について	原案可決
議案第138号	財産の取得について	原案可決
議案第139号	平成28年度大仙市スキー場事業特別会計への繰入額の変更について	原案可決
議案第140号	平成28年度大仙市一般会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第141号	平成28年度大仙市公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第142号	平成28年度大仙市特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第143号	平成28年度大仙市スキー場事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
請願第11号	西仙北地域刈和野地区高屋敷地内の市道並びに側溝に関する請願	採 択
陳情第45号	未来の有権者のための、模擬投票所設置に関する陳情	不採択
陳情第46号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担割合2分の1復元をはかるための、2017年度政府予算に係る意見書採択の要請について	採 択
陳情第47号	旧佐藤産業工場解体に関する陳情	継続審査
意見書案第29号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担割合2分の1復元を求める意見書	原案可決

第2回定例会賛否一覧

議案等名	議決結果	大地・公明の会										新政会				だいせんの会			共産党		関								
		鎌田正	武田隆	大山利吉	金谷道男	秩父博樹	後藤育男	佐藤健	石塚 柏	高橋幸晴	富岡喜芳	大野忠夫	本間輝男	千葉 健	橋本五郎	小松栄治	佐藤清吉	渡邊秀俊	茂木 隆	小山緑郎		高橋敏英	佐藤芳雄	古谷武美	橋村 誠	児玉裕一	佐藤文字	藤田和久	藤田隆盛
陳情第45号 未来の有権者のための、模擬投票所設置に関する陳情	不採択	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

議案賛成者は○とし、反対者は●とします。議長は採決に加わらないため、斜線としています。

9名の議員に永年勤続者表彰

5月31日に東京国際フォーラムで開催された「第92回全国市議会議長会定期総会」で、佐藤文字議員、橋本五郎議員が在職25年以上、大野忠夫議員、渡邊秀俊議員、本間輝男議員が在職15年以上、茂木隆議員、橋村誠議員、金谷道男議員、武田隆議員が在職10年以上の功勞により表彰を受けられ、第2回定例会2日目の本会議開会前に、千葉健議長より表彰状が伝達されました。受賞おめでとうございます。



上程された議案は関係各委員会に付託され、審査が行われました。主な質疑は次のとおりです。

総務民生常任委員会

単行案4件、補正予算案1件、陳情2件を審査しました。

集約しての最終案か

【問】境界や字の区域の変更は、ほ場整備に伴って、大仙市、美郷町の人も現況がいろんな所にあつて、最終的にはそれをまとめて大仙市側、美郷町側に集約して、今回の最終案となつたのか。
 【答】所有者は必ずしも大仙市、美郷町だけと限らず、換地処分はできるだけ集約するが、今回の字界、境界変更では地形等を重視して、わかりやすい境界としている。

ポンプ車の耐用年数は

【問】老朽化に伴う更新だが、ポンプ車の耐用年数はどれくらいか。また、古いポンプ車はどうするのか。
 【答】耐用年数は10年であるが、約20年以上で更新の対

象としている。古いポンプ車は購入先で下取りしていただく。

防災ラジオの販売は

【問】無償貸与する避難行動要支援世帯とはどんな世帯か。また、一般販売の仕方は。
 【答】高齢者・障害者等のうち、災害発生時の避難等に特に支援を要する方がいる世帯である。また、一般販売については、広報などでPRを行い、多くの方から購入していただけるよう検討している。

【問】無償貸与で、亡くなられた方、施設に入る方がいた場合の防災ラジオの扱いは。また、避難勧告等に対してどう行動すればいいのか。マニュアル等は作成していないのか。
 【答】防災ラジオの耐用年数は5年を基準に、5年以内は返還してもらい、超えるものは支給となる。また、マニュアルについては、市の防災ハザードマップの策定に併せ作成する。

他の地域でも

該当するのか

【問】災害に強いまちづくり事業において、太田地域が自治総合センターのコミュニケーション助成事業の対象となつているが、他の地域や自治防災組織でも、この助成事業に該当するのか。
 【答】この助成制度は、50万円から200万円までの枠があるが、規模に応じて申請はできる。積極的に地域や自主防災組織が手を挙げれば、市で申請していききたい。

企画産業常任委員会

補正予算案1件を審査しました。

大仙市への

移住・定住の事例は

【問】これまで大仙市へ移住や定住に関しての問い合わせは何件あつたか。また、移住・定住につながつた事例、特に空き家を活用した例はあつたか。
 【答】4月に大仙ライフ促進班が創設されたから3件の問い合わせがあつた。昨年度は、5世帯8名の方が大仙市に移り住んでいるが、

空き家を活用した例はなかった。

【問】移住・定住を促進するために、宿泊体験などを行っている自治体もあるが、大仙市ではどのような工夫を行い、成果を残そうとしているのか。
 【答】これまでの相談実績から、移住希望者向けのガイドブックの作成や空き家バンク登録制度を整備し、移住希望者に情報を伝えていきたい。また、昨年度、県のお試し移住事業を活用し、1世帯3人家族が「大曲の花火 秋の章」に合わせて宿泊体験を実施している。今年度は、冬のお祭り「刈和野の大綱引き」に合わせて宿泊体験を計画し、雪寄せや雪道での運転などの体験を含めて実施したいと考えている。

暗渠排水の不具合は

【問】基盤整備の施行後に、暗渠排水が機能していないか。つた例はあるか。
 【答】ほ場の沈下や暗渠の不具合については、ほ場整備の施行後の作付けを見て、具合の悪いところを直す補

完工を実施しているのが一般的である。件数は把握していないが、この補完工により排水不良の解消に努めたい。

韓国唐津市との

国際交流は

【問】将来的には経済的な交流を検討しているということだが、どのようなかたちでイメージしているのか。
 【答】唐津市と大仙市とは、人口規模や経済規模の違いから具体的なイメージまではまだできていないが、来年の友好都市協定締結10周年を契機に、どのような経済交流が持てるのか、これまでの行政間の交流から民間交流へ発展させるべく、商工団体等と協議していきたい。



▲昨年8月、唐津市より訪問団が来庁

教育福祉常任委員会

条例案1件、単行案1件、補正予算案2件、陳情1件を審査しました。

保育士の雇用に懸念

【問】大仙市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例を、保育士が不足している中で、当面の対策として今回改正するようだが、将来、無資格者の雇用が常態化しないか。

【答】この改正による配置基準の弾力化は当分の間ということであり、また、市内の法人でも資格がないと受入児童数の拡大が図れないこともあるため、有資格者の採用を優先する。

スポ少・部活動と

重ならないか

【問】児童生徒のふるさとを愛する心を育て、地域の将来を担う人材の育成を目指す「大仙ふるさと博士育成事業」の活動は、学校の長期休暇・土日・祝日を想定している。スポ少や部活動と重なるが可能か。

【答】これからスタートなので、いろいろな課題が考えられるが、精査しながら解決していく。また、スポーツ団体に協力を求めていることもあり得る。

建設水道常任委員会

単行案2件、補正予算案2件、請願1件を審査しました。

なぜ10カ月も

かかるのか

【問】大曲地域に配備する除雪ドーザの納入期限が、来年、平成29年3月21日とのことだが、納入までに10カ月も要するのはなぜか。

【答】平成26年度から排ガス規制が強化されており、大手除雪機メーカー数社に問い合わせたところ、納入に最短で7カ月、最長で10カ月との回答があったため、納入期限を最長の10カ月とした。ただし、今回の入札で仮契約した業者からは、7カ月で納入できるとの回答をいただいているので、本契約後には、少しでも前倒しで納入できるよう交渉してまいりたい。

耐用年数を過ぎた

設備の数は

【問】今回の補正により、下水処理場内の設備で耐用年数の過ぎたものを更新することだが、市全体で耐用年数の過ぎたものは、どのくらいあるのか。

【答】公共下水道施設関係では、刈和野・強首・協和中央・南外の4カ所の処理場があるが、このうち、設備の耐用年数を過ぎていているのは、刈和野・強首・協和中央の3カ所である。この3カ所については、処理場の長寿命化計画に基づき、順次整備していく予定である。



▲大曲地域に配備されるものと同型の除雪ドーザ

FMはなびで議会の活動を紹介しています

87.3



▲収録を行う石塚柏広報広聴常任委員長(左)

5月から、広報広聴常任委員が交代で市議会の活動などを放送しています。

5月は石塚柏委員長が市議会の今後について、6月は小山緑郎副委員長が市政懇談会の開催について放送しました。

7月は秩父博樹委員が、8月は佐藤育男委員が担当します。

議会の仕組みや活動などをわかりやすく伝えていきますので、ぜひお聴きください。

- 番組名 … 市議会だより
- 放送日時 … 金曜日 10:15～10:30
日曜日 12:45～13:00 (再放送)
火曜日 18:45～19:00 (再放送)

平成27年度政務活動費の会派別収支状況をお知らせします

政務活動費は、議員の調査研究活動に必要な経費として、会派ごとに交付されております。

交付額は、1人あたり月15,000円です。

収支の内容は毎年度議長に報告され、残額がある場合は市に返還することになっております。

市民の方ならどなたでも閲覧できますので、詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

(単位：円)

項目	会派名	大地の会 (12人→13人)	新政会 (6人)	だいせんの会 (5人)	市民クラブ (2人→1人)	日本共産党 (2人)	公明党 (1人:4月~9月)
会派への交付額		2,250,000	1,080,000	900,000	255,000	360,000	90,000
支出額		1,815,957	945,491	838,861	179,730	316,847	110,151
内訳	調査研究費	1,747,310	921,480	720,280	172,833	132,810	107,412
	研修費	32,863	16,431	13,693	5,477	5,477	2,739
	広報費					172,560	
	広聴費						
	要請・陳情費						
	会議費						
	資料作成費			87,588			
	資料購入費	26,784					
その他経費	9,000	7,580	17,300	1,420	6,000		
差引額(返還額)	434,043	134,509	61,139	75,270	43,153	0	

※公明党の議員が大地の会へ9月17日より加入したため、公明党の政務活動費は9月分までとなっております。

また、支出額には自己負担分が含まれています。

※市民クラブは所属の議員が8月に逝去されたため、9月に105,000円が返還されました。

【政務活動費の項目解説】 (主なもの)

- ・調査研究費：市の事務、地方行財政等関する調査研究及び調査委託に関する経費（資料印刷費、調査委託費、文書通信費、交通費、宿泊費等）
- ・研修費：研修会を開催するために必要な経費、団体等が開催する研修会の参加に要する経費（講師謝金、会場費、交通費、宿泊費、文書通信費、参加費等）
- ・広報費：活動、市政について住民に報告するために要する経費（広報誌・報告書等印刷費、会場費、茶菓子代、文書通信費、交通費等）
- ・資料作成費：活動に必要な資料の作成に要する経費（印刷製本費、翻訳料、事務機器購入、リース代等）
- ・資料購入費：活動に必要な図書、資料等の購入に関する経費（書籍購入費、新聞雑誌購読料、有料データベース利用料等）
- ・その他の経費：その他の活動に必要な経費

大仙市議会「市政懇談会」を開催

6月27日～7月1日までの5日間、大仙市議会「市政懇談会」を開催しました。

議員が5班編成で市内10箇所に出向き、議会の活動状況や平成28年度予算の主な事業について報告し、地方創生に伴う人口ビジョンや総合戦略、第2次大仙市総合計画における各地域の振興計画について説明しました。

市民の皆さまからは、たくさんのご意見・ご提言をいただきました。

詳細については、後日、市議会だより第46号でお知らせいたします。



西仙北地域での市政懇談会

「市政懇談会」への出席者数

開催日	場所	人数
6月27日(月)	南外コミュニティセンター	24人
	はびねす大仙	5人
6月28日(火)	内小友公民館	9人
	角間川公民館	8人
6月29日(水)	神岡福祉センター	19人
	中仙農村環境改善センター	22人
6月30日(木)	西仙北支所	47人
	協和支所	22人
7月1日(金)	太田文化プラザ	31人
	仙北支所	14人
計		201人

- | | |
|--|---|
| <p>〔7月〕</p> <p>1日 市政懇談会（太田地域・仙北地域）</p> <p>30日 市政懇談会（西仙北地域・協和地域）</p> <p>29日 市政懇談会（神岡地域・中仙地域）</p> <p>28日 市政懇談会（大曲地域内小友地区・角間川地区）</p> <p>27日 市政懇談会（南外地域・大曲地域）</p> <p>20日 第2回定例会（第4日）・議員説明会</p> <p>16日 議会運営委員会</p> <p>13日 総務民生常任委員会協議会
企画産業常任委員会協議会</p> <p>10日 第2回定例会（第3日）</p> <p>9日 第2回定例会（第2日）・議会運営委員会</p> <p>7日 公共施設等総合管理計画調査特別委員会</p> <p>〔6月〕</p> <p>30日 第2回定例会（第1日）・議員全員協議会
広報広聴常任委員会</p> <p>25日 建設水道常任委員会「所管事務調査」</p> <p>23日 議会運営委員会</p> <p>18日 総務民生常任委員会「所管事務調査」</p> <p>17日 会派代表者会議・企画産業常任委員会「所管事務調査」</p> <p>9日 公共施設等総合管理計画調査特別委員会</p> <p>〔5月〕</p> <p>26日 企画産業常任委員会協議会・議会改革推進会議</p> <p>21日 教育福祉常任委員会「所管事務調査」</p> <p>19日 議会運営委員会</p> <p>7日 広報広聴常任委員会</p> <p>5日 公共施設等総合管理計画調査特別委員会</p> <p>1日 会派代表者会議・議員全員協議会</p> <p>〔4月〕</p> | <p>〔5月〕</p> <p>26日 企画産業常任委員会協議会・議会改革推進会議</p> <p>21日 教育福祉常任委員会「所管事務調査」</p> <p>19日 議会運営委員会</p> <p>7日 広報広聴常任委員会</p> <p>5日 公共施設等総合管理計画調査特別委員会</p> <p>1日 会派代表者会議・議員全員協議会</p> <p>〔4月〕</p> |
|--|---|

用語の解説

「繰越明許費」

地方自治体の予算は「会計年度独立の原則」によって、歳出はその年度の歳入をもって充て、これを翌年度に繰り越しして使用することはできません。

しかし実際には、天候の都合、起債の遅れ、その他突発事故等によって工事等が遅れ、年度内に完了することができない場合があります。

こうした場合に「会計年度独立の原則」の例外として、予算に定めて、翌年度に繰り越しして経費を支出できるものとしており、これを繰越明許費といいます。

行政視察の受け入れ状況をお知らせします

〔4月〕

- 20日 兵庫県伊丹市議会・大阪府豊能町議会
（教育の取り組みについて）

〔5月〕

- 10日 熊本県人吉市議会
（小中学校の学力向上について）
- 18日 栃木県小山市議会
（小中学校の学力向上・統廃合について）
- 19日 茨城県水戸市議会
（一般廃棄物最終処分場について）
- 20日 愛媛県砥部町議会
（小中学校の学力向上について）

9月定例会日程のお知らせ

- 8月30日(火) 本会議第1日(市政報告・議案上程等)
- 9月7日(水) 本会議第2日(一般質問)
- 8日(木) 本会議第3日(一般質問、議案質疑、委員会付託)
- 9日(金)・12日(月) 常任委員会審査
- 16日(金) 本会議第4日(委員長報告、質疑、討論、表決)

※現時点での予定であり、変更される場合があります。
変更内容は随時、議会ホームページでご案内しています。

議長交際費（4月1日～6月30日）

項目	件数	金額
予算額		900,000円
支出額	22件	210,480円
内訳	弔慰	10,000円
	慶祝	122,000円
	協賛	78,480円
予算残額		689,520円

オリンピックでの活躍を期待

リオデジャネイロ・オリンピック男子マラソン日本代表、佐々木悟選手（南外地域出身）のご両親が6月16日、海外で練習している佐々木選手の代理として大仙市議会を表敬訪問され、千葉健議長、佐藤芳雄副議長に、オリンピック出場と今後の抱負について報告がありました。

千葉議長からは、オリンピックでの活躍を祈念して、激励金が贈呈されました。



▲表敬訪問された、佐々木選手のご両親（中央）

大仙市の歴史巡り（太田地域）



▶ 雲昌山 龍像院
（太田町駒場）

円空を訪ねて



◀ 百花山 大園寺
（太田町石神）



十三仏(十王仏)像(龍像院蔵)

十三仏を木彫りでかたどったもので、材質は杉と推定される。菅江真澄遊覧記「月の出羽路」前北浦郷の中に「田の中から発掘した円空作十王像が正覚院にあった」と記している。正覚院とは同地域にある「羽黒神社」のことで、明治初年のときに神社からもらい受けている。



薬師如来像(大園寺蔵)

円空の作といわれ、県外からも見学者が訪れる。木彫りで薬師如来をかたどった像である。制作年代ははっきりしていない。円空の作の中では、高さ11.2cm、幅8cmと、東北地方に現存する仏像の中では最小のものとなる。気品豊かな如来像である。

（高橋幸晴 記）



広報広聴常任委員会

委員長 石塚 柏
副委員長 小山 緑郎
委員 秩父 博樹
佐藤 育男
佐藤 文子
橋村 誠
高橋 幸晴
小松 栄治
渡邊 秀俊
大山 利吉

（秩父博樹 記）

今期定例会で質問させていただいたが、20代と60代の有権者の投票率を比較すると、全国的に約2倍の開きがあり、これは当市においても同様の開きが見受けられる。これは若い世代の声が、政治に反映されている実感がないことが大きな要因と考える。

少子高齢化が進む中、現在の若い世代がどんな政策を必要としているのか、市政に携わる立場にある者はアンテナを高く掲げ、小さな声を聴く力“を磨いていく必要がある。

大仙市の未来を見据え、若い世代が欲している施策を実現させていきたい。

今般の「だいせん市議会だより」が発行されるころには、選挙権年齢が18歳以上に引き下げられての、初めての参議院選挙の開票結果が明らかになっている。昨年6月、実に70年ぶりに公職選挙法等の一部を改正する法律が成立して以降、初の国政選挙。若い有権者の投票率がどのような結果となって現れるのか、注目される所だ。

